

フォーラム

がんと生きる

～こころとからだ 私らしく～

2人に1人がかかるといわれる“がん”。

医学の進歩で治療の効果があがる一方で、抗がん剤などの副作用に悩まされ、暮らしや治療そのものに支障をきたす人も少なくありません。

今そこに、新たな医療の手立てがでてきました。治療の副作用を軽減する“支持療法”や、心や体の痛みに寄り添う“緩和ケア”の効果が期待されています。

たとえ、がんと診断されても自分らしく生きられる時代。

がんとともに生きる当事者や医療者らが最新の医療・ケアについて語り合います。

参加者募集中

日時：2018年 **5月27日** (日)

開場：午後0時30分 開演：午後1時30分 終演：午後4時00分(予定)

※途中休憩あり

会場：JRホテルクレメント徳島
4階クレメントホール

住所：徳島県徳島市寺島本町西1-61

定員：500人 **入場無料** 事前の申し込みが必要です。
申し込み方法は裏面をご覧ください。

がん相談コーナーもあります。お気軽にお立ち寄りください。

交通 ●JR徳島駅 直結。
有料駐車場があります。



題字/延 哲也
イラスト/マルシェル

主催 NHK厚生文化事業団 NHKエンタープライズ 読売新聞社

後援 NHK徳島放送局 厚生労働省 徳島県 徳島市 社会福祉法人徳島県社会福祉協議会 社会福祉法人徳島市社会福祉協議会 一般社団法人徳島県医師会 一般社団法人徳島県歯科医師会
一般社団法人徳島県薬剤師会 公益社団法人徳島県看護協会 一般社団法人徳島市医師会 徳島県民生委員児童委員協議会 徳島市民生委員児童委員協議会 徳島県がん診療連携協議会

協賛 ツムラ

出演者プロフィール

島田 光生 しまだ みつお

徳島大学大学院医歯薬学研究所 消化器・移植外科学 教授

1984年九州大学医学部卒業。同年九州大学第二外科に入局、1987年ピッツバーグ大学研究員、2002年九州大学大学院消化器・総合外科助教授を経て、2004年より現職。消化器がん、特に難治性の肝臓がんの外科を中心とした集学的治療に従事。最先端のがんの個別化研究・治療から、漢方なども用いた全人的な患者ケアまで実践している。日本消化器癌発生学会（理事長）、日本癌治療学会、日本癌学会、日本消化器外科学会（第71回総会会長）ほか。

渋谷 義久 しぶたに よしひさ

がん患者会「ガンフレンド」代表、悪性リンパ腫当事者

小松島市在住。住宅設備工事を生業としていた10年前、56歳の時にステージ4の悪性リンパ腫が見つかる。9か月の抗がん剤治療で劇的に回復したものの、現在に至るまでしびれをはじめ全身の違和感など副作用に悩まされ、仕事を退職した。そうした中、2008年に徳島で初めてリレー・フォー・ライフを立ち上げる。同じ病に悩む人たちとの出会いに勇気づけられ、がん相談支援センターなどの支援も得て、昨年きのご栽培業に再就職を果たした。がんを抱えても自分らしく生きるための支援を当事者として模索している。

吉川 睦美 よしかわ むつみ

近藤内科病院 リハビリテーション部 理学療法士
徳島がんリハビリテーションネットワーク研究会 世話人

2001年徳島医療福祉専門学校を卒業。回復期、在宅、ペインクリニック、整形外科でリハビリテーション技術の研鑽を積み、2016年より近藤内科病院に勤務。緩和ケア病棟や外来リハビリを通じて積極的にがん患者と関わるようになる。がん治療の後遺症や副作用などの改善に尽力。がんの進行に伴う体力低下の予防、精神面でのフォロー、生活能力の維持・向上に努めている。機能回復を目的としたリハビリテーションだけではなく、患者が幸福感や生きがいを発見し、その人らしい生活が送れるよう支援するリハビリを日々目指している。

河南 真吾 かほみなみ しんご

徳島県立海部病院 総合診療科 特別医員
徳島大学大学院総合診療医学分野 助教

2009年徳島大学医学部卒業。患者がおかれている心身の状態や生活環境など全人的に診る家庭医療専門医であり、2017年より徳島県立海部病院に勤務し、医療アクセスの限られる県南端の地域医療に取り組んでいる。看護師や介護職と協働し、診察室ではがん治療の苦痛・不安対策に尽力するとともに、在宅診療を通じて患者と家族が望む暮らしに寄り添う日々。最後まで自分らしく生きる「終活」の啓発にも努め、出張教室を通して地域住民と語り合っている。

小倉 和代 おくら かずよ

家族、准看護師、鳴門市オレンジカフェ連絡会 事務局長

北九州市生まれ。両親とともに鳴門市に転居し、介護施設で働きながら一男一女を育てる。1995年から准看護師として地元の内科病院に勤務。2012年には内視鏡技師の資格もとれ、がんに向き合う本人に寄り添い続けてきた。10年前に夫が直腸がんを発症したのを契機に、本人だけでなく、家族支援の大切さに気づく。2年前には父親に小細胞肺癌が見つかり自宅での看取りも経験した。現在はがんに加えレビー小体型認知症を抱える夫の介護を続けながら、レビー小体型認知症家族会の立ち上げに尽力するなど地域支援を進めている。

町永 俊雄 まちなが としお コーディネーター

福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動が続けている。

参加申し込みについて

入場は無料ですが、事前の申し込みが必要です。

参加ご希望の方は、はがき(単信)、FAX、メール(ホームページの申し込みフォームから)のいずれかに

1. 名前(必ず個人名を記入) 2. 郵便番号・住所 3. 電話番号 4. 参加人数

5. ご一緒に参加される方の名前(複数名の参加を希望される場合) を書いて、お申し込みください。

お申し込み先

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル

NHK厚生文化事業団「フォーラム がんと生きる 徳島」係

FAX 03-3476-5956 ※FAX番号はお間違いのないようお願いいたします。

ホームページ <https://www.npwo.or.jp/>

**定員になり次第
締め切ります**

※当日の入場は『入場整理券(1枚で1人入場可)』が必要です。5月14日以降、順次、希望人数分を封書でお送りいたします。

※郵便番号、住所は正確にご記入ください。誤りおよび記入漏れがある場合、入場整理券が届かない場合がありますので、ご注意ください。

※個人情報適切に管理し、本フォーラムの連絡のみに使用いたします。

下記欄にご記入の上、そのままFAXにてお送りいただけます。

フォーラムがんと生きる徳島	ふりがな	参加人数	< ご一緒に参加される方の名前 >
	名前 ※必ず個人名をご記入ください。		
	住所 〒		
	電話番号		